

2025年度（公財）JK A補助事業の成果及び自己評価結果の公表

補助事業名 2025年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

1 補助事業の概要

(1)事業の目的

北海道立総合研究機構工業試験場における試験機器の整備を推進し、試験研究機能や技術支援機能の強化を図ることにより、道内中小企業等の技術力向上を支援し、機械工業の振興、新産業の創出に貢献します。

(2)実施内容

電磁誘導作用を利用して金属自体を直接発熱させ溶解することができる、「小型高周波誘導炉」を導入しました。

2 予想される事業実施効果

① 小型高周波誘導炉

本機器の導入により、鋳物製品の試作や溶解歩留まりの評価、生産技術の高度化のための鋳造試験等のニーズに対応でき、北海道内のものづくり産業の競争力強化による力強い地域経済形成への貢献が期待できる。

3 本事業により導入した設備

① 小型高周波誘導炉

(<https://www.hro.or.jp/upload/56386/kogatakousyuha.pdf>)

電磁誘導作用を利用して金属自体を直接発熱させ溶解する装置です。るつぼ交換型でアルミニウム合金、銅合金、鋳鉄、鋳鋼など大気中で溶解が可能な材料で使用することができ、試験鑄造や材料開発を行うことができます。



小型高周波誘導炉

設置場所：【地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場】

②本事業に係る印刷物等

北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～

◆ R8/3/13 Vol.25.13 No.230 ◆
■□■ 北工試だより ～道総研工業試験場メールマガジン～ ■□■

春の訪れとともに、年度の締めくくりの時期を迎えました。
本年度も工業試験場では、皆さまとともに技術指導、依頼試験、設備使用、共同研究、人材育成など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。
今後とも、身近で相談できる産業支援機関として、柔軟で実践的な支援を提供できるよう努めてまいります。小さな疑問やお困りごとでも、どうぞお気軽にご相談ください。

☆☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆☆

- 【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介
- 【2】令和7年度 新規導入機器のご紹介

【1】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介

公益財団法人JKAの補助を受け、次の機器が導入されましたのでご紹介します。

◆事業名：公益財団法人JKA 2025年度 機械振興補助事業
▼小型高周波誘導炉（富士電波工業株式会社 FBT-50、FTR-50-3M型）
機能・特徴

- ・50kg程度までの金属を溶解し、試験鑄造や材料開発を行うことができます。
- ・るつぼ交換型でアルミニウム合金、銅合金、鑄鉄、鑄鋼など大気中で溶解が可能な材料で使用することができます。

主な仕様：加熱方式：高周波（3kHz）誘導加熱
定格出力：50kW
溶解量：鑄鉄、鑄鋼50kg

▼JKA補助事業設備紹介

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/renkei/JKA.html>

2026年3月13日 配信

4 補助事業の自己評価

本事業により機器を更新したことで、老朽化による動作の不具合が解消され、安全かつ効率的に少量金属の鑄造試験を実施できるようになり、鑄物製品の試作や溶解歩留まりの評価、生産技術の高度化のための鑄造試験等のニーズに対して適切に対応することが可能となりました。以上により、北海道内のものづくり分野の企業等（鑄造業等）に対して、新製品開発や生産技術の高度化を支援し、当該分野の振興・先進性の向上を促進する体制の充実を図ることができました。

【総合評価点】 4 全体として比較的高いレベルの事業であった。

(参考) 2025年度JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつかの課題が残った。
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。